

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学学長選考基準

平成28年3月25日
学長選考会議決定
令和2年6月1日改正

奈良先端科学技術大学院大学は、創設以来、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を育成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に貢献することを目的として教育、研究及び社会連携活動に取り組み、先端科学技術研究の新たな展開を先導する国際的な教育研究拠点としての地位を確立することを目指している。

学長には、その実現のため、人格が高潔で、学識に優れ、かつ、本学の教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有することとともに、以下のような資質・能力が求められる。

- 1 創設以来の伝統を活かしながらも、現代社会の要請に応える、先端科学技術の大学院大学に相応しい卓越性・独創性・多様性・先取性を備えた教育研究活動を育み導く使命感、国際的な視野、明確なビジョン、豊かな文化的教養を有すること。
- 2 本学の創設の趣旨、理念、ミッション、中期目標その他本学の目指す方向性を把握し、少子化等の将来の課題を踏まえつつ、広い視野と柔軟な発想で本学の更なる発展のための方策を策定し、それを実現できる実行力を有すること。
- 3 本学の教職員との円滑な合意形成に配慮しつつ、適切な判断と機動的な大学経営及び教学運営を行える強いリーダーシップを有すること。
- 4 国内外にネットワークを広く有し、ステークホルダーとの強固な信頼関係を築くコミュニケーション能力を有すること。
- 5 国内外において本学の存在感を示すための情報発信力を有すること。